



千曲川河川事務所 記者発表資料

平成24年10月5日

(日程修正) 魚類調査を実施し河川環境を把握します ～平成24年度 河川水辺の国勢調査を実施～

国土交通省は全国の109(北陸地方整備局管内は12)の一級水系の直轄管理河川を中心に、河川に生息する生物・植物の調査、河道の形状の調査、河川空間の利用実態の調査を行う「河川水辺の国勢調査」を実施し、河川事業、河川管理を適切に行うための基礎資料としています。

生物調査は、①魚類、②底生動物、③植物、④鳥類、⑤両生類・爬虫類・哺乳類、⑥陸上昆虫の6項目があり、①魚類、②底生動物は5年毎に調査を実施しています。(その他は10年毎に実施)。

今年度、千曲川・犀川においては「魚類調査」を実施しています。6月の調査に引き続き、10月も以下のとおり実施いたします。

9月30日に長野県内を通過した台風17号の影響により、水位の上昇、水の濁り等があったため、下記のとおり日程を変更しました。

調査期間: 10月3日(水)～12日(金)

調査箇所: 千曲川上流部(犀川合流点より上流)	杵淵	10/11(木)
	鼠橋	10/10(水)
千曲川下流部(犀川合流点より下流)	樽川合流点	10/9(火)
	小布施橋	10/10(水)
犀川	安茂里地区	10/12(金)
犀川	他3箇所	(実施済)

(※裏面参照)

調査方法: 投網、タモ網、定置網、はえなわ、潜水観察などにより魚類を捕獲し、計測後に特定外来生物以外は放流します。

今年6月の調査では、スナヤツメ、アカザなどの重要種が確認されています。
また、近年増加傾向であるブルーギル、オオクチバスなどの特定外来種も確認されました。

今年度の魚類調査の結果は、全国分を年度末にとりまとめ、公表されます。

なお、過去の調査結果は、水情報データ管理センター「河川環境データベース」で閲覧できます。
<http://mizukoku.nilim.go.jp/ksnkankyo/index.html>



【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局
千曲川河川事務所 026(227)9434
調査課長 吉田 俊康
建設専門官 大滝 嘉孝

